

令和3年6月 学校長だより 高千穂高校

令和3年6月9日

「心配も余所に」

校長 佐伯 浩 美

ひと月前（5/11）平年より19日も早く梅雨入りした。長雨と蒸し暑さを心配していたが、今のところ晴れた日も思っていた以上に多くあり、蒸し暑さで不快感になる日は、まだ高千穂ではないようだ。

さて、2年ぶりの開催となった宮崎県高等学校総合体育大会、残すところ本校関係での参加は、男女のバレーボール部のみとなった。11日から都城で開催される。1回でも多く勝ち進み、上位入賞を期待する。今年の高校総体選手・文化部推戴式は、高千穂高校の魅力の1つである「※ICT街づくりLabo」からオンラインで開催した。「逃げるな、怠けるな、諦めるな。平常の自分であれ」「敵は相手に有らず、我が心の中に有り」と激励の言葉を贈った。選手諸君どうであっただろうか？ 弱い自分の心に打ち勝ち、楽しく試合に臨むことができたでしょうか？ 緊張した場面で、逃げ出さずに耐えて頑張ることができた経験は、成長である。心が少しだけ強くなったことだろう。試合で経験した事実を前向きに捉え、これからの自分をどう変えようとするのかを考え、具体的な行動に移すことが大切である。

そのような心配も余所に、大会を終えた3日後6/5土曜日の朝8時、3年生普通科進学クラスは、「6月進研マーク模試」に必死で取り組んでいた。前日金曜日の16時50分から英語リーディングテスト・18時20分英語リスニングテストに始まり、土曜日は地歴B、国語、数学①、昼食を挟み数学②、公民、化学、物・生と続いた。自己採点を終えた3年生が校門を出るのは、17時が近かった。

3年生進学クラスが地歴Bを開始する頃、2年生普通科進学クラスは、貸し切りバスで五ヶ瀬中等教育学校に向かった。「English Day 2021」コミュニケーション英語力の向上を目標に五ヶ瀬中等教育学校5年生と交流学習会が開催された。両校の混合生徒少グループと宮崎国際大学留学生がオンラインでタブレットを使いZoomミーティング形式で、グループ対話を通して英語力を高めた。全て英会話で実施された。オープニングでは、鬼束五ヶ瀬中等教育学校校長も流暢に英語で挨拶をされたが、意味がわからなかった。学生の時に英語の勉強をしておけばよかったと後悔した。秋は五ヶ瀬中等教育学校が高千穂高校へ来て合同学習を行う。英語での挨拶ならば、教頭にお問い合わせしようと思っている（笑）

鬼束校長の挨拶が、私にはズーズ弁に聞こえていた頃、高千穂高校大会議室では、大原簿記公務員専門学校の先生による公務員課外が実施されていた。公務員を目指す3年生3名2年生4名が前日の金曜日5・6限目の授業に続き、真剣に耳を傾けていたようである。1年生普通科は、朝課外は始まっているが、土曜課外（4時間）を初めて経験していた。2年生から国公立大学進学を目指す進学クラスと私立大・短大・専門学校・公務員・就職など幅広い進路に対応できる普通クラスに分かれることになる。

4日放課後は、校長室隣の小会議室から笑い声とともに大きな拍手も聞こえていた。ある部活動の新体制作りだと察した。生徒も先生も新たな目標へ向かい、もうスタートしている雰囲気を見えた。

※ICT街づくりLabo→「県立学校を核とした街・人・仕事創成推進事業」により整備された施設

・ICT活用した街づくりの拠点として地域間連携・協働や地域活性化を図ることを目的としている。

高校生だけでなく誰でも使用できる 高速インターネットや大型スクリーン・大型ディスプレイを設置

・遠方からの画像や映像を大型スクリーンに投影することで、リモートでの講演や会議ができる。

・小会議、セミナー、ディスカッション、映像視聴ができる。

・詳細は、裏面をご覧ください。